

わくわく!ふくいっ子



R7.6.26 文責 福井小学校長 鶴本正道

大谷選手の振る舞いに学ぶ、スポーツマンシップと平和の尊さ

先日、メジャーリーグの試合で大谷翔平選手が見せた振る舞いが、多くの人々に感動を与えました。9回裏、相手投手の投球が体に当たり、球場が騒然となる中、大谷選手は自軍ベンチに向かって手を振り、事態を静めようとしてしました。さらに、相手チームのベンチに歩み寄り、笑顔で言葉を交わす姿や、相手選手と談笑する姿も見られました。

この一連の大谷選手の行動は、まさにスポーツマンシップのお手本と言えるでしょう。どんな状況でも冷静さを保ち、相手への敬意を忘れない姿勢は、私たち大人にとっても学ぶべき点が多々あります。

私たちは、日々の生活の中で様々な困難や意見の相違に直面します。そのような時、感情的にならず、いかに冷静に対応できるかが問われます。大谷選手は、自らが痛みを負った状況であっても、相手チームや周囲への配慮を忘れず、平和的な解決を促しました。これは、感情のコントロールの重要性と、相手を思いやる心の大切さを雄弁に物語っています。

また、相手チームの選手と笑顔で言葉を交わし、談笑する姿は、異なる立場の人々を理解し、尊重することの重要性を示しています。スポーツの世界では、勝ち負けが明確に決まりますが、その中であっても、互いの努力を認め、敬意を払い合うことで、より豊かな関係性が築かれます。これは、グローバル化が進む現代社会において、子どもたちが身につけるべき重要な資質の一つです。

私たちは、この大谷選手の振る舞いから、子どもたちに何を伝えられるでしょうか。学校生活においても、友達との意見の衝突や、うまくいかないと感じる場面は必ずあります。そのような時、感情に任せるのではなく、一度立ち止まって冷静になり、相手の気持ちを想像すること。そして、言葉や態度で誠意をもって接することの大切さを、私たちは日々の指導の中で伝えていきたいと考えています。大谷選手が示した「紳士的で平和的な振る舞い」は、単なるスポーツの範疇を超え、私たちの社会全体が目指すべき姿を示しています。子どもたちが、大谷選手のように、困難な状況でも冷静さを保ち、相手を尊重し、平和を愛する心を持った人間に成長してくれることを願っています。

